

Be Positive!!

げん え き だ い が く せ い

インターンの つながる通信

～神原議員のもとで多くの出会いがありました～



議員と過ごしたこの2か月

～北摂インターン勉強会～

出前講座「豊中市の情報公開制度」を開催しました!!!

—なんと!インターン生が企画・運営—



こうなってるの!? 豊中市の情報公開

- ・ 情報公開はそもそも、市民の積極的な政治参加のために進められた。
- ・ 市民は無料で豊中市に情報公開を求めることができる。
- ・ 豊中市も市民に分かりやすい内容で情報を公開できるよう努力している。

これほど公開
していいもの
なの!?

開示しても用語が難解で分かりづ
らいので、市側も明解な文書作りを
目指しているそうですね。

誰にでも公開で
きる市もあるん
だけど・・・

お越し頂いた方々のご意見・・・

- ・ 市民が市政に興味を持って情報を求める姿勢も必要。
- ・ 情報公開はまだまだ遠い存在。行政からの積極的な情報提供が必要。



出前講座を活用しよう!!!

今回、私たちが開催した「出前講座」は豊中市に簡単にお申し込みいただくことができます。その際には、20名程度の参加、会場の手配などが必要です。

普段から市政への関心をお持ちの方、市政について勉強してみたいと考えている学生の方など「出前講座」を活用してみたいかご検討は?

詳しくは豊中市総務部広報広聴課へ

インターン生からの お届けものです♪



林原 史明
関西学院大学1回生

政治は自分とはあまり関係の無いものと思っていたので、なかなか興味をもつことができませんでした。しかし、関心の薄かった政治に興味をもちたい、自分の意見をもって投票したいという思いから、インターンに参加しました。

実際、活動を共にさせてもらおうと、通信配りや勉強会など地道なものばかりでした。しかし、議員さんが朝一番に駅に立ってるのは、そこまでつき動かす何かをもっているからだと思います。だから、市民の方々がそのことに気づき、耳を傾けてくださればと思います。

大学では、とりあえず楽な方向へという考えから、消極的な人が目立つと思います。このインターンには、目的をもった人が多く参加しており刺激になりましたが、大学もなんとなく入る場ではなく、目的が活かされる場であって欲しいです。

高橋 雅也
立命館大学1回生

本来、インターンとは主義主張が似通った場所へ赴くものではないか？今回私はまさに真逆の状況であった。しかし、その中で自分とは違った視点を少なからず養うことができた。それ故、当然神原さんの考えに「ちょっと待て！」と言いたくなることも多々あるが、それでも良いと思う。

実際、市議会議員の主義主張を知っている国民がどれだけいるだろう？しかしそれでも選挙は行われる。名前を知っているから入れる、ということも多い。そんな中、一人の議員をしっかりとみて、意見を言えるのならそれは本来理想だろう。

様々な傍聴をしてきたが、これはインターンだからできるのではなく、誰でも望めばできるのです。自分の生活を定める場を他人に全て委ねてしまっても良いのでしょうか？

インターンを通じて感じたこと

鷺見 ちひろ
大阪大学2回生

大学という狭い世界で生活している私にとって政治の世界は無縁なもので、視野を広げたいと思ってインターンに参加しました。インターン活動を通して、議会や街頭演説に関わる中で考え方や視野も変化しました。

しかし、いちばん学んだのは人とのつながりです。私自身、多くの出会いと多様な関係性を経験しました。政治とは、議員と市民、行政と市民との関係性が根底にあることに気づきました。大学生の私にとって政治なんて関係ないと思っていましたが、通信を配ったり、市民と接したり、市民との関係を大切にして向き合い続ける議員の存在を知りました。だから今は、市民も政治を任せきりにせず、議員や行政と関わり、知ろうとする姿勢が必要だと思っています。

大西 悠里
関西大学2回生

この2か月で、自分が政治について無知であっただけでなく、愚痴をいうだけの受け身だったことに気づきました。

「選挙＝うるさいもの！」だと思っていました。けれど実は、公職選挙法によって大音量のマイクでしか訴えが許されていないことを知り、多少の音は仕方がないにしても、法律自体がおかしいと思うようになりました。

そうした思いを議会に届ける役割が議員です。思いを託せる、信頼できる議員が私の地元にもいって欲しいと思います。だからまず私は、選挙の時には候補者の考えを比較し、自分の意見をもって投票することから始めていこうと考えています。

